

【資料－3】

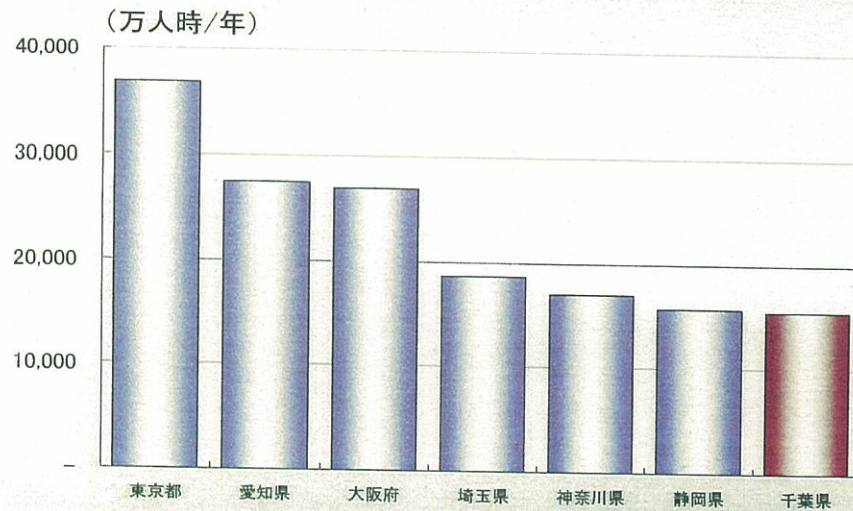
千葉県北西部の交通特性と今後の課題について

データで見える千葉県の課題

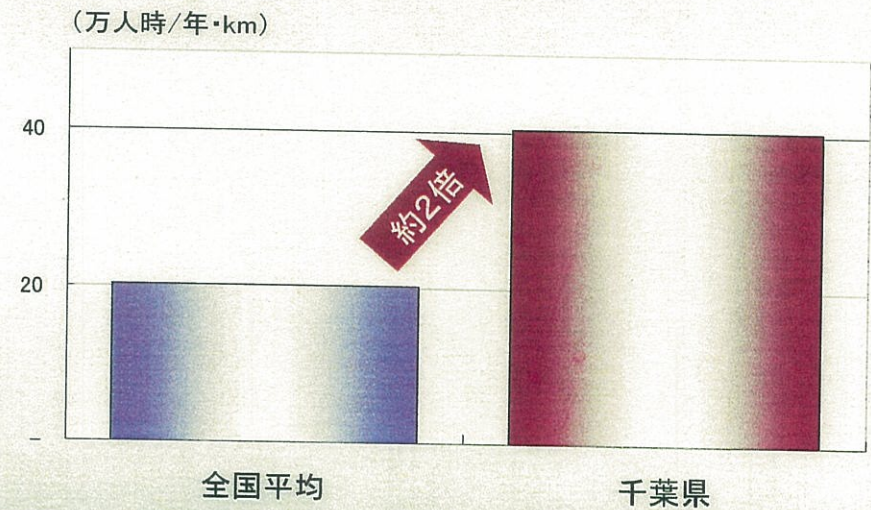
千葉の渋滞は、

全国でワースト7位

年間の渋滞損失時間は約1.6億人時

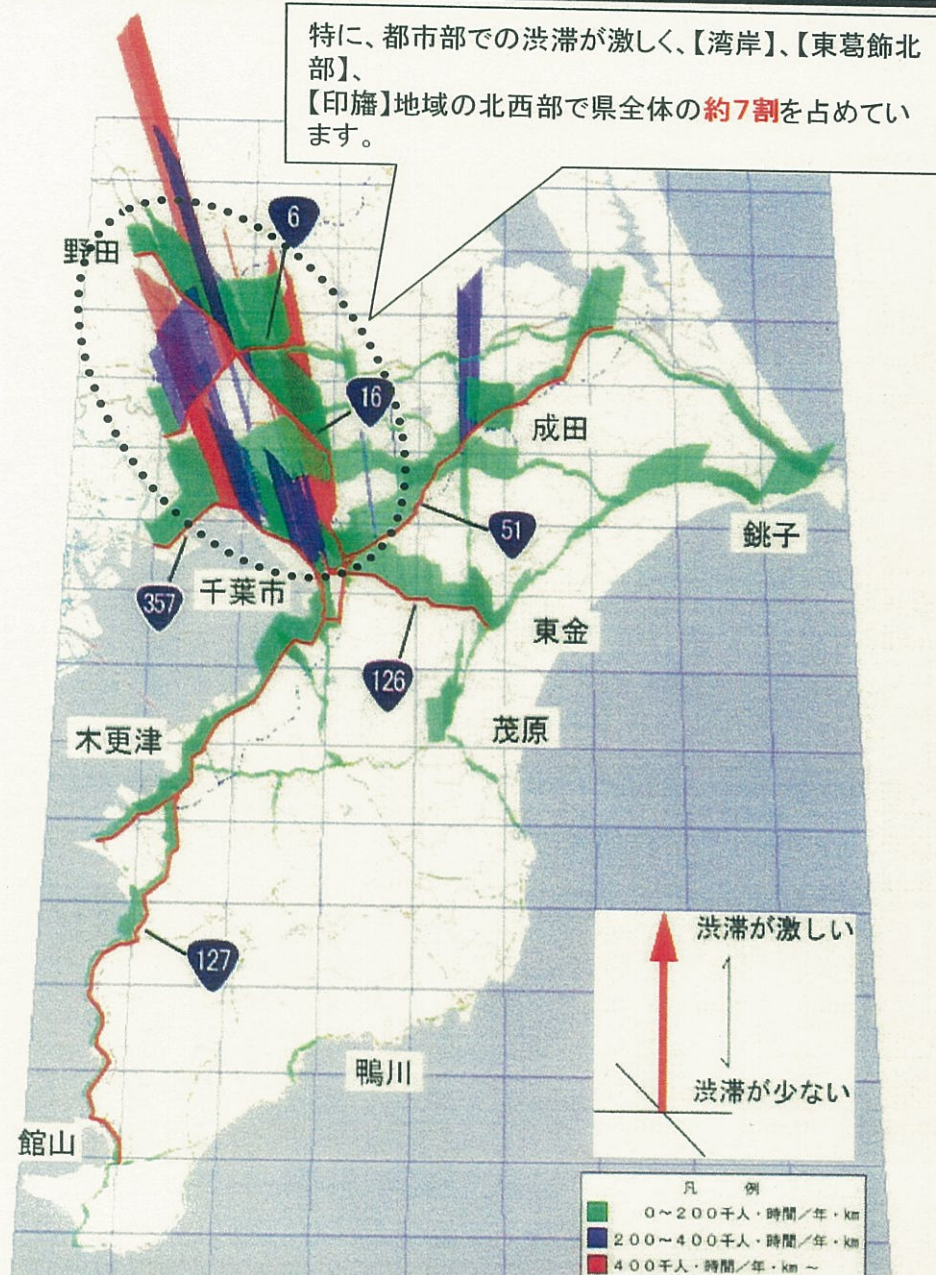


全国平均の約2倍



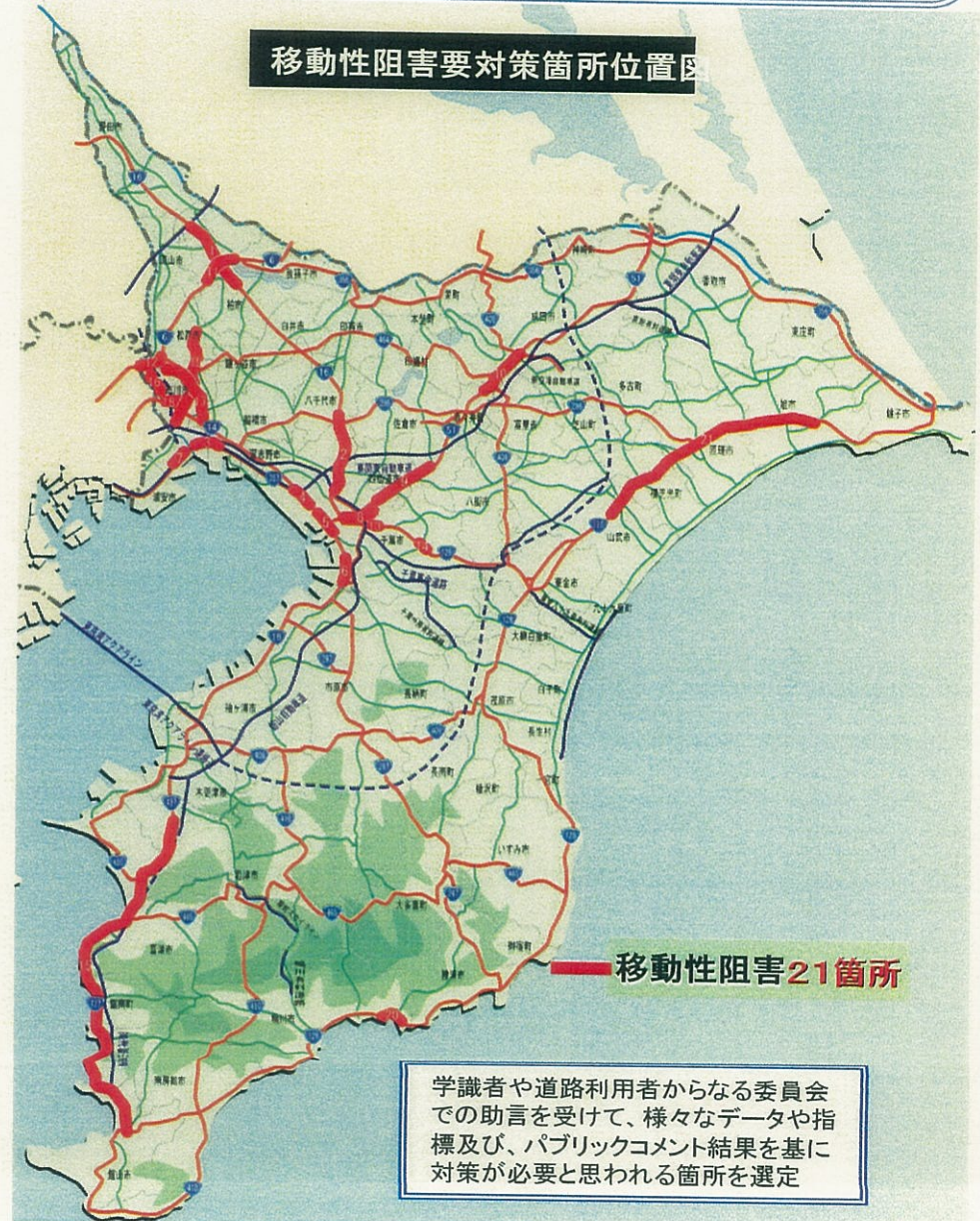
移動性見える化プラン【渋滞】:都市部に渋滞が集中

特に、都市部での渋滞が激しく、【湾岸】、【東葛飾北部】、【印旛】地域の北西部で県全体の約7割を占めています。



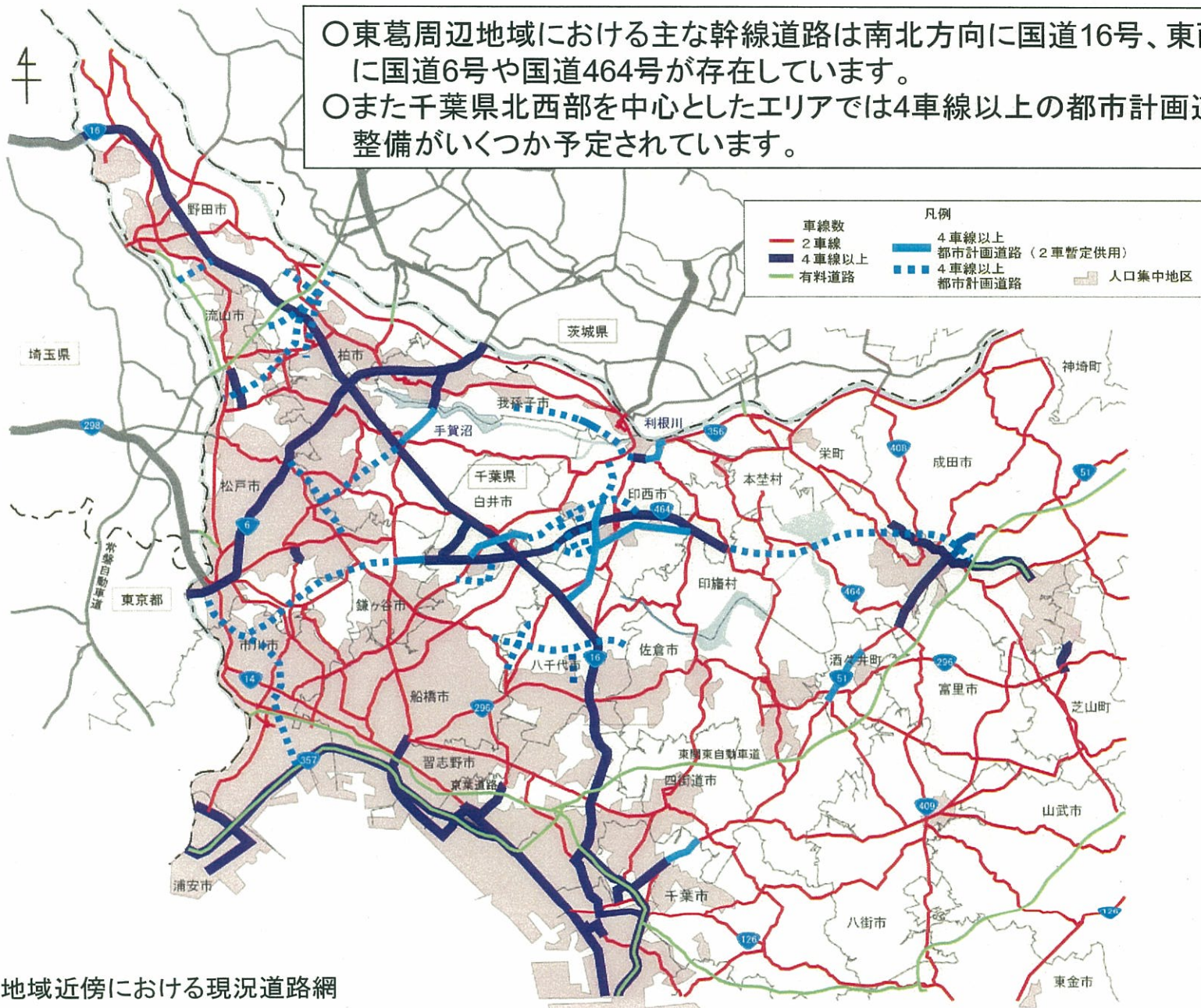
1kmあたり渋滞損失時間(H16プローブ調査)

千葉県では9割の渋滞が、2割の路線に集中



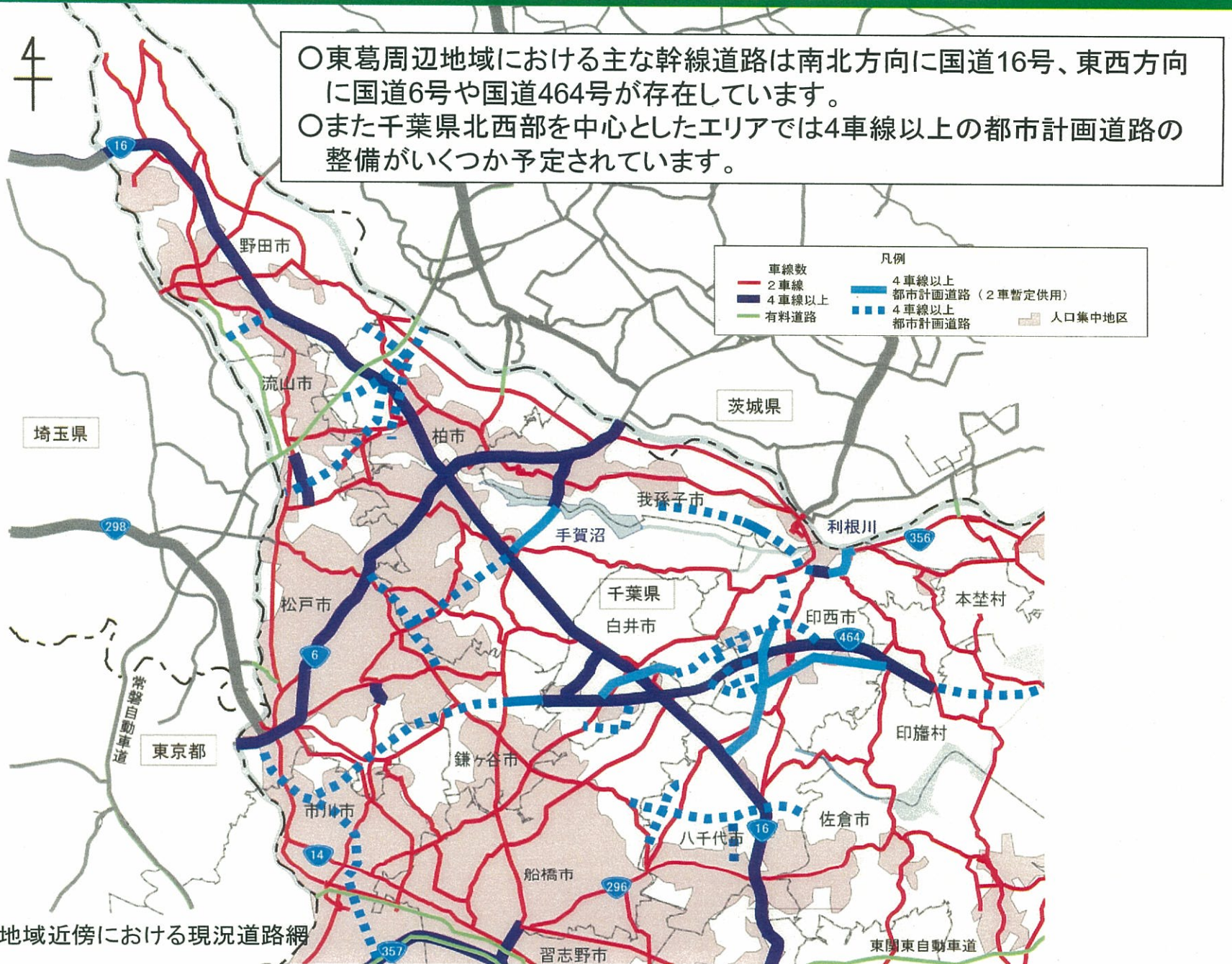
東葛周辺地域の現状①（現況の道路網）

○東葛周辺地域における主な幹線道路は南北方向に国道16号、東西方向に国道6号や国道464号が存在しています。
 ○また千葉県北西部を中心としたエリアでは4車線以上の都市計画道路の整備がいくつか予定されています。



東葛周辺地域近傍における現況道路網

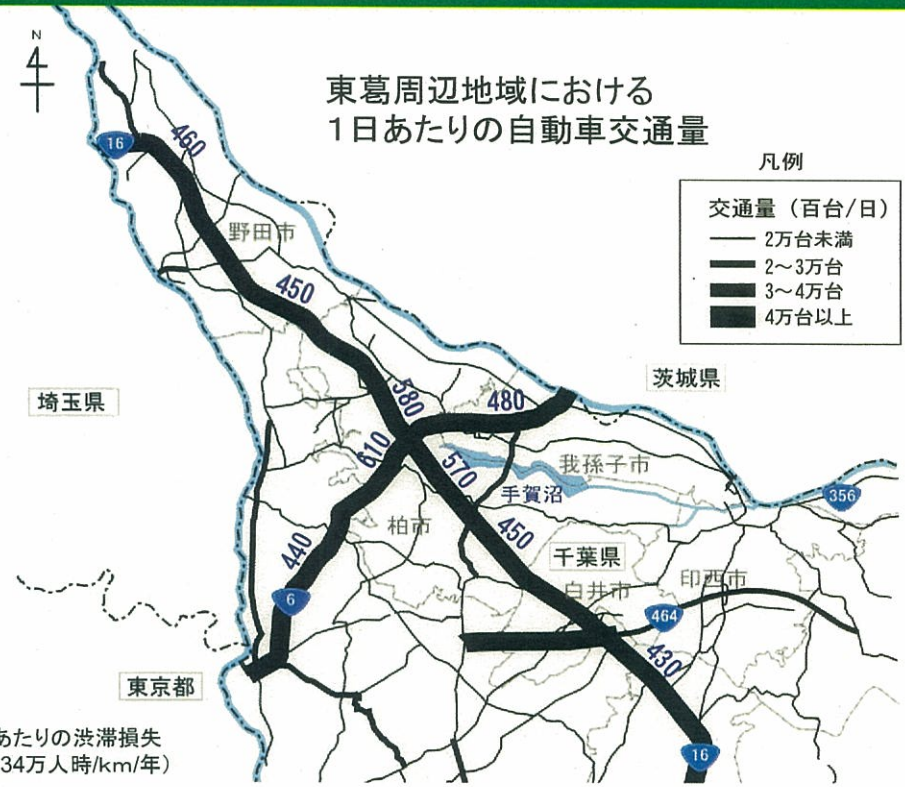
東葛周辺地域の現状①（現況の道路網拡大図）



東葛周辺地域の現状②（交通の状況）

○国道16号や国道6号は多いところで1日あたり約6万台の自動車が行き、国道6号と交差する柏付近に集中しています。

○国道16号の柏IC～大島田付近では交通集中により、渋滞で遅れ時間が大きくなっています。



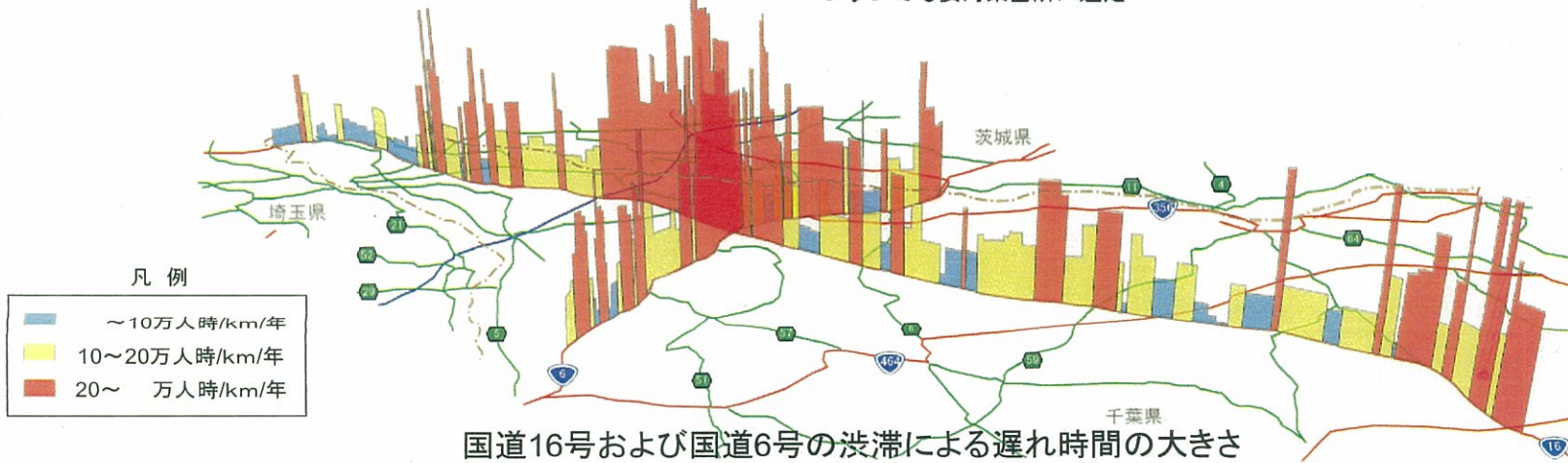
1kmあたりの渋滞損失時間

■	全国平均	: 2万人時/km/年
■	千葉県平均	: 4万人時/km/年

16 柏IC～大島田間は渋滞見える化プランでも要対策箇所を選定（1kmあたりの渋滞損失時間：34万人時/km/年）

6 旭町～北柏入口間は渋滞見える化プランでも要対策箇所を選定

出典：H17道路交通センサス



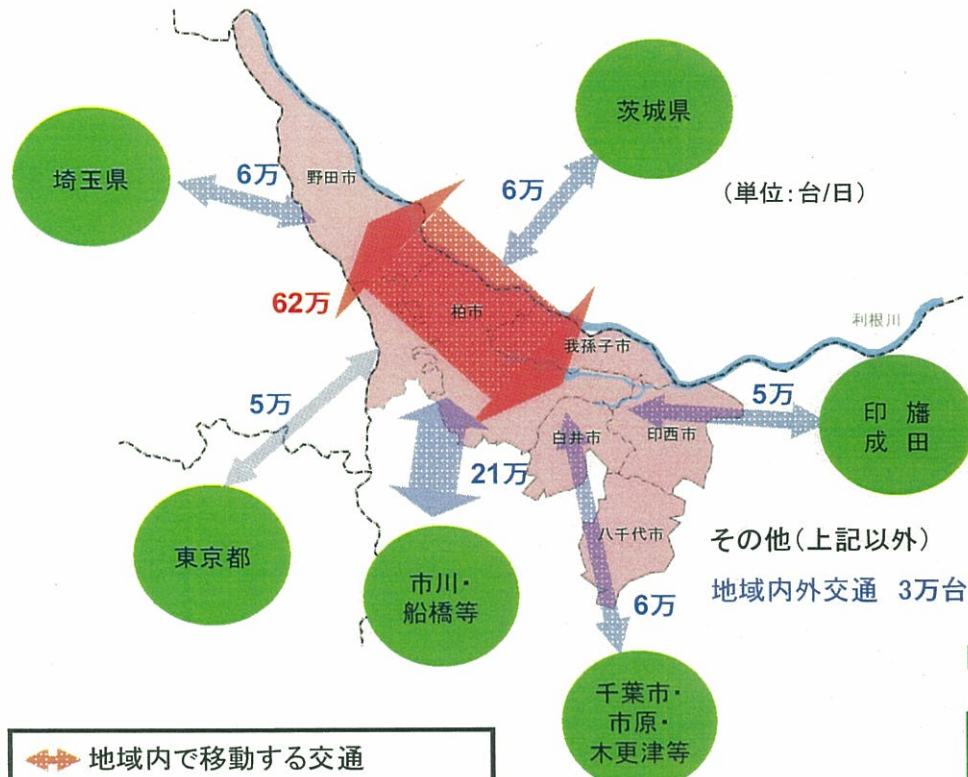
東葛周辺地域の現状③（自動車の動き）

■東葛地域周辺の全体的な自動車の動き

(H11道路交通センサスODの集計による)

当該地域に起終点を持つ交通の内訳は

- ・地域内の移動が約5割
- ・地域内と地域外の移動が約5割 と同程度存在



- ⇄ 地域内で移動する交通
- ⇄ 地域内⇄地域外を移動する交通
- 地域を通過する交通

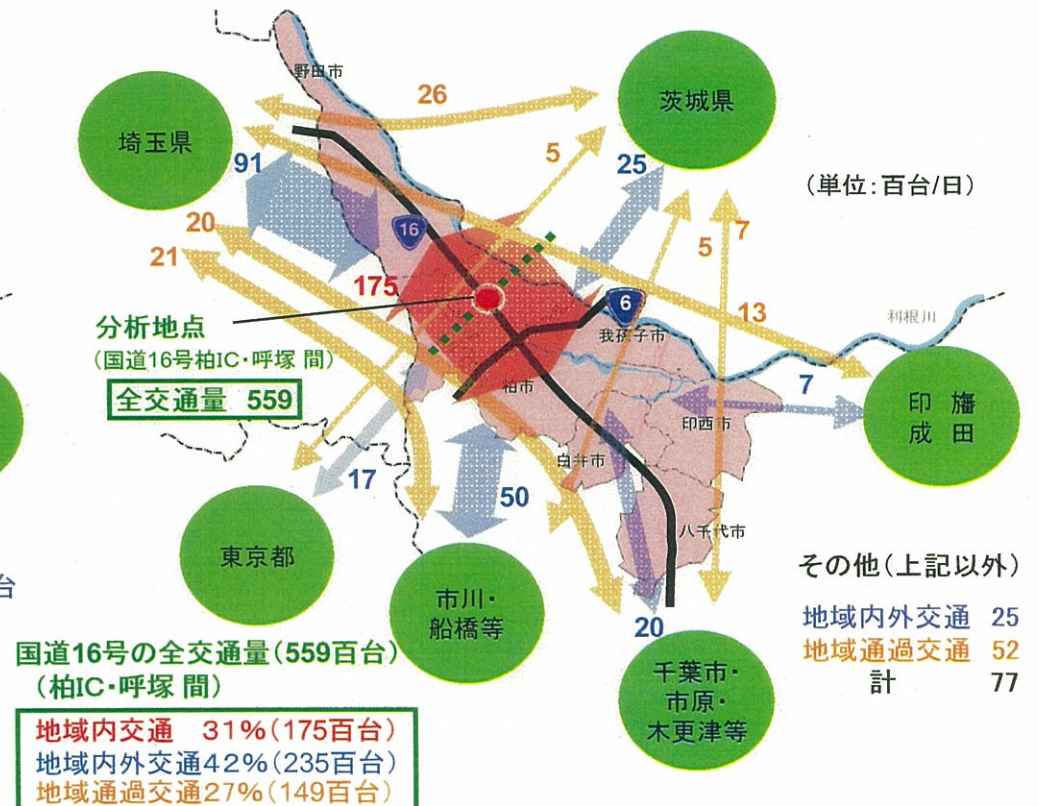
※地域内:6市(野田市、柏市、我孫子市、白井市、印西市、八千代市)

地域内交通 54%(62万台)
地域内外交通 46%(52万台)

■国道16号柏IC・呼塚間を通過する自動車の動き

(H11道路交通センサスODにもとづく交通量配分による)

- ・地域内の移動が約3割
- ・地域内と地域外の移動が約4割
- ・地域を通過する移動が約3割



国道16号の全交通量(559百台)
(柏IC・呼塚間)

